

【目次】

- 【1】 関西支部総会の報告
- 【2】 関西支部講演会の報告
- 【3】 各研究会(全国・支部)の活動
- 【4】 他支部、他学会、その他関連講演・講習会等の案内
- 【5】 その他お知らせ・ご連絡

♪==♪==♪==♪==♪==♪==♪

日本生産管理学会関西支部・メルマガ受信希望者各位

大阪学院大学の葛西です。

今年もあと半月ほどとなりました。

2021年は関西支部が主体となり、9月に全国大会を開催するなど、活動的な1年であったと思います。ひとえに支部各位のご協力の賜物と感謝申し上げます。

しかしながら、関西支部の所属人員は年々減少の一途です。総会では、その対策として今後どのような活動を行うかを中心に議論いたしました。

また、総会後の講演会では、「中小ものづくり企業の変革への取組み」をテーマに、(株)山田製作所 代表取締役 山田英登様より「多様性を自社の強みに」について、また(株)京都紋付 社長 荒川 徹様より、「京黒紋付染で衣類のアップサイクルと伝統産業の継承」についてお話を頂きました。

総会・講演会の詳細は添付本文にてご確認ください。

よろしく願いいたします。

発行:日本生産管理学会関西支部

連絡先:葛西恵里子(ekasai@hi-ho.ne.jp)

【1】生産管理学会関西支部総会の報告

2021年11月27日に開催されました、生産管理学会関西支部総会では主に、

- (1) 2021年活動報告、会計報告
- (2) 2022年活動方針
- (3) 2022年からの関西支部理事・代議員体制

について議論し、決定しました。(1)については全国大会の開催を含め、会計報告まで承認されました。

次に(2)については、会員数の減少が支部最大の課題であり、新規会員の獲得、退会者を出さない取り組みが必要であるとの認識で一致しました。その対策としては、

- ① 会員からの積極的勧誘⇒個人で参加する様々なコンソーシアムなどに、各自が「学会員」であることを強調し、さまざまな情報にアクセスしやすい状況を作るなどの利点を生かすと同時に、他のメンバーに利点を理解してもらい勧誘する

- ② 学会の魅力づくりとその発信⇒関西支部として、Facebook を開設し、情報発信を行う、生産管理学会のHPにも、支部情報を掲載する(本部に申請中)

- ・ メールマガジンの継続(発信する情報のまとめ、この内容で上記 SNS/HP に掲載)
- ・ 発信情報として、**会員による署名付きコラムの発信**(A4 半分~1 ページ程度(図表・写真含む) メールマガジン上で記載後、Facebook/学会 HP に転載)

を行うことといたしました。特に、「**会員による署名付きコラムの発信**」は、研究者・コンサルタントなどをされている会員にとっても、**自身の名前により広く情報発信ができる機会**ととらえていただき、積極的な投稿をお願いいたします。

作業上、随時とはいきませんが、まずは2か月に1度のメールマガジンに掲載し、その内容で Facebook/

学会 HP に掲載する予定ですので、[おおよそ各奇数月の月末までに情報をお寄せください](#)。

Facebook/学会 HP の解説は、来年初めを予定しています。開設の際は別途知らせしますので、ぜひお気に入り登録等していただき、ご覧いただくこと、またお知り合いにも積極的に拡散いただきますようよろしくお願い致します。

(3) 2022 年からの関西支部理事・代議員体制については、会員数の減少に伴い、理事数を現行 6 名から 4 名(△2)に、代議員数を現行 7 名から 6 名(△1)に減らさなければなりません。しかしこれを反転の機会とすべく、

①将来を見据え、できるだけ若い層のメンバーに主軸を移す。

②ただし、学会への高い帰属意識をもとに、率直に意見を言える人を残す。

こととし、以下を新体制といたします。

理事(4名)	特記事項	代議員(6名)	特記事項
石倉 弘樹	会長・理事会選出理事	宗平 順己	変更なし
葛西 恵里子(支部長)	支部長・理事会選出理事	小倉 哲也	変更なし
森山 真光	変更なし	三森 八重子	変更なし
船越 亮(新副支部長)	代議員より理事に変更 支部会計兼任	岡村 俊一郎	変更なし
		柏原 秀明	理事より移動
		弘中 泰雅	理事より移動

理事・代議員の皆様においては、更なるご協力をお願いするとともに、会員の皆様においても、積極的にご協力を頂きますよう、今後ともよろしくお願い致します。

【2】生産管理学会関西支部講演会の報告

2021 年 11 月 27 日、総会に引き続き、講演会を行いました。

今回の講演会は、「中小ものづくり企業の変革への取り組み」をテーマに、(株)山田製作所 代表取締役 山田英登様より「多様性を自社の強みに」について、また(株)京都紋付 社長 荒川 徹様より、「京黒紋付染で衣類のアップサイクルと伝統産業の継承」についてお話を頂きました。

(株)山田製作所は、愛知県あま市にある研削専門メーカーです。1970 年に創業、50 年以上の歴史を持つ会社です。同社は当初、さまざまな加工を請け負っていましたが、バブル以降の日本経済の停滞とともに業績も伸び悩みました。このような中、2014 年に社長に就任した山田英登様は、同社の最も強みであった研削に業務を絞り強化。その過程で勤と経験で仕事を進める職人に頼らず、最新の機械導入と業務の標準化を推進し、女性を戦力化させることに成功すると同時に、風土・制度改革によって働きやすい職場づくりおこない、定着化を推進しました。講演の場では、女性が中心の和気あいあいとした雰囲気での職場のディスカッションの様子などを紹介いただき、社員が誇りを持って仕事をしているのだということがひしひしと伝わってきました。また、同社のビジョンである『丸をまん丸にする会社』の由来を紹介いただきました。会場からは、研削加工への業務の選択と集中を行う過程で、同社が乗り越えてきた困難についてや、離職対策・従業員の本音をいかに吸い上げるかなどの質問があり、地道で繊細な顧客管理や近隣業者との連携、従業員への真摯な向き合いなど、社長の信念と人柄が伝わるお話を聞かせていただきました。

同社の HP は右記となります。<https://www.ysei.co.jp/company/>



(株)京都紋付の荒川徹社長様からは、「京黒紋付染で衣類のアップサイクルと伝統産業の継承」についてお話を頂きました。同社は和服の黒染め専門メーカーでしたが、20 後半から和服・黒紋付の急激な衰退に見舞われました。着物のマーケットは 1975 年 2 兆円であったものが現在は 3000 億円弱と 1/7 に、黒紋付の組合員は最盛期 130 事業所以上でしたが現在は 3 事業所と、まさに伝統産業の崩壊寸前の状況でした。同社も全く異なる市場への転向を余儀なくされます。この様な中、同社は「深黒加工」という黒染めで培ったコアな技術を活用した新たな事業展開として、洋服の染直し事業に着手しました。この染直しによる「アップサイクル」は、まず愛着のある服



(株) 京都紋付
染 黒 街

を長く着たいという消費者の心に応えるものであること、黒というベーシックで飽きの来ない製品に生まれ変わること、天然素材は染まるものの、化学繊維は染まらないという特徴を生かし、染め変えることで全く違った印象の服に生まれ変わる楽しさを味わえることが特徴と言えます。

しかしながら、全く新しいこの取り組みでの困難は、世に知れ渡り、市場を作るところからやらなければならないことでした。そのために、取次代理店を募集、回収・送品など実際の工程はすべて同社で行うなど、プッシュ戦略によるサプライチェーンの構築とともに、顧客への認知を広めるプル戦略を地道に、精力的に実施してきました。その結果、新宿伊勢丹にブースを設置したり、ChampionやMICHEL CLEAINなど、グローバルブランドと手を組んでのプロジェクトを行うなど、国内外から高く評価されるようになりました。また、衣類の廃棄を減らす取り組みとして、SDGsの側面からも評価され、教科書の記事にも採用されています。



会場からは、染め変える際、元の生地の状態はつかみにくく、顧客のクレームが起こるのではないかとという質問がありました。これには、現物の状態を見て、ものによっては受けられないことや事前の免責事項に合意の上で実施することなど、実務的な問題への対策にも触れていただき、まったく新しい分野の事業化への難しさや真摯な対応の大切さが伝わってきました。

同社のHPは右記となります。<http://www.kmontsuki.co.jp/index.html>

今回お話しいただいた両社とも、今まで取組むことが難しかった分野に果敢に挑戦され、そして道を切り開いてこられたお会社と感じました。両社の目指すゴールは、働く人を幸福に・社会をより豊かにするものと言えます。しかしその道は決して終わることなく、さらなる挑戦が待っているのだろうと感じられました。今回の講演で貴重なお話を頂いたことに感謝するとともに、両社のますますのご発展を祈念いたします。

(文：葛西恵里子)

【3】生産管理学会関西支部各研究会(全国・支部)の活動

関心のある研究会がございましたら、直接各「連絡先」までご連絡ください。

<1>生産性向上研究会(旧食品産業研究会を発展的に継承)

・次回予定: 12/18(土) 14:00~17:00,

場所:スクラムソフトウェア様会議室

次々回予定:1/22(土), 14:00~17:00

場所未定(対面の場合はスクラムソフトウェア様会議室、オンラインの場合はZoom使用)

・連絡先:林 芳樹 (kyo884@khaki.plala.or.jp)

<2>SDGsのビジネス戦略研究会

・次回予定: 2022年2月か3月頃を予定

於:現時点で対面・オンライン併用開催の予定、対面の開催場所:(株)アイリーシステム会議室

・連絡先:入江安孝(yirie@iriesys.jp)

<3>新資本主義研究会 (SDGsのビジネス戦略研究会と同時開催)

・次回予定: 2022年2月か3月頃を予定

於:現時点で対面・オンライン併用開催の予定、対面の開催場所:(株)アイリーシステム会議室

・連絡先:入江安孝(yirie@iriesys.jp)

<4>関西生産管理資格制度研究会

・次回予定:12/26(日)10:00~11:30 オンライン会議(Zoom)

・連絡先:柏原秀明(kasihara@mbox.kyoto-net.or.jp)

<5>学校給食における生産性向上

・次回予定:未定

・連絡先: 葛西恵里子 (ekasai@hi-ho.ne.jp)

【4】他支部、他学会、その他関連講演・講習会等の案内

<1>【日本経営システム学会】ニューノーマル研究部会「第4回会合」(政策分科会)開催について
大阪大学の三森先生より、下記の研究会のご案内を頂きました。興味をお持ちの方は、奮ってご参加ください。

【ニューノーマル研究部会「第4回会合」(政策分科会)の開催について】

■日時: 日時: 2022年1月17日(曜日) 18:30～

■開催方法: Zoom を用いて開催

■講演タイトル: 「ブラジルの特許法改正と COVID-19 のインパクト」

■講師: カラペト・ホベルト先生 Dr. Roberto Carapeto (早稲田大学・法学学術院・大学院法学研究科講師)

■講演内容:

新型コロナウイルス感染症蔓延の影響により、ブラジルは特許制度を大きく2つ改正した。1つ目の改正は、ブラジル特許制度の最大の特徴であるところの、ブラジル産業財産庁(INPI)と国家衛生監督庁(ANVISA:米国のFDAに相当)による医薬品特許出願の二重審査(事前承認)を取り消すもの。2つ目の改正は、国家緊急事態下における強制実施権に関する新しいルールである。後者については今回より具体的なルールが導入されたが、この立法過程においては強制実施権に関する興味深い議論が交わされた。本講演ではこの2点について詳細を吟味する。

■講師略歴: カラペト・ホベルト氏は、リオ・デ・ジャネイロ州立大学(Universidade do Estado do Rio de Janeiro)法学部を卒業後、ブラジル国の弁護士資格を取得した。現在、ブラジルの法律事務所 Licks Attorneys にパートナーとして所属しており、ブラジル及び南米における知的財産権に関する業務に10年以上携わってきた。日本の文部科学省の国費留学生として来日し、早稲田大学大学院法学研究科で修士課程および博士課程を修了した。現在、早稲田大学大学院法学研究科講師として、アジア・リージョン法 LL.M.コース(Waseda LL.M. Asia Region)のアシスタントコーディネーターを務めている。

※ご不明な点がございましたら下記へご連絡ください。

三森八重子・大阪大学招聘教授 dt4y-mtmr@asahi-net.or.jp

<2> Conference on Post-Pandemic Society 開催・発表者募集のお知らせ

当学会所属 Anshuman Khare 先生が主催する Conference on Post-Pandemic Society が2022年3月18-19日に京都大学で開催されます。発表者(発表時間15分)を募集しています。申込の締切が2021年12/31までとなっています。関心をお持ちの方は下記HP参照のうえ、Khare 先生までお申し込みください。(anshuman@athabasca.ca)

Please check out the Conference on Post-Pandemic Society

<https://sites.google.com/site/anshumankhare/symposiums-seminars/kyoto-2022-conference-on-post-pandemic-society?authuser=0>

【5】その他お知らせ・ご連絡

・次回メルマガ情報提供のお願い

本メルマガは、関連の皆様の情報で作り上げていきます。

以下の情報をお持ちでしたら、末尾「連絡先」までご一報ください。

なお、次回発行は2022年2/上～中旬を予定しています。

2021年1/末を目途に連絡をいただけると幸いです。

◎署名記事を募集します。

◎他学会・他支部、その他関連講演会、書籍出版等、の情報があればお知らせください。

・読者募集・拡散のお願い

本メルマガは、支部内外・学会内外に関わらず、拡散歓迎です。

生産管理に興味をお持ちの方に広く知っていただけますと幸甚です。継続して受信希望のある方は、直接送付いたしますので、末尾「連絡先」までご一報ください。

本日の内容は以上です。

オミクロン株の動向が明確ではありませんが、楽観視はできない状況とされています。

従来通りの感染対策をし、ぜひ皆様も、お気をつけて年末年始を安全に・楽しくお過ごしください。

発行：日本生産管理学会関西支部

連絡先：葛西恵里子(ekasai@hi-ho.ne.jp)

*このメールは日本生産管理学会関西支部会員および学会内外の希望された方へ配信しています。

また、このメーリングリストに登録の各位のアドレスは、生産管理学会のリストと同期できません。

アドレス変更をされる場合は、上記連絡先までご一報ください。